

# AOVA magazine

カラダのそとがわトうちがわノおはなし・[特別号]

vol.18

令和6(2024)年5月22日  
発行所(株)エーオーエーアオバ

いつまでも、笑顔で、健やかに。  
これからも、皆様の日々のために…

白井常雄 追悼号

vol.18 特別号 編集・デザイン(株)エーオーエーアオバ 経営企画広報室 発行(株)エーオーエーアオバ 〒112-0015 東京都文京区目白台3-4-11 ジーエフビル TEL 03-5976-1411 <http://www.aooaova.jp/>

皆様に愛され、アオバの原点でもある AOVA SOD は、今年生誕 36 年を迎えました。

日頃のご愛顧に、深く感謝申し上げます。

これからも、皆様の健やかな毎日のために、丹精込めて

アオバ製品をお届けさせていただきます。



AOVA SOD (3g)、パパイヤクwestプラス、ルイボス AOA ティー  
(詳細やお求めは、HP カカスタマーサービスまで)

宇宙・地球・人間の調和を実践します



株式会社 エーオーエーアオバ  
〒112-0015 東京都文京区目白台 3-4-11 ジーエフビル  
Tel. 03-5976-1411 (代) [www.aooaova.jp](http://www.aooaova.jp)

# Aova New Leadership Driving Forward.

今後は、私どもが力を合わせ、それぞれの特技を活かしながら  
歩んでまいります。よろしくお願いいたします。

去る三月一日、全社員会議で白井常雄社長が、「今年十月、西澤頼母を社長に就任させる」と宣言された八日後の三月九日、社長は突如逝ってしまった。なぜ西澤頼母かと思われる方も多いと思う。おそらくそれは社長が、西澤頼母は未熟だから、未熟であればこそ伸びしろがある、と考え、これからの、将来のアオバと成長できる、と思っていたからではなからうか。

アオバは創業以来、「会社を大きくしよう。」「ビルを建てよう。」という現実的発展より、より多くの方々にSOD様食品をお届けし、健康でイキイキと生きるための手段や手法を提供してきた。それは創業当時、一包三百円だった製品を百九円まで値下げし、皆様が、より手に取り易くなるような実践を続けてきたことからも伺える。

アオバという会社に魂があるとすれば、常雄社長はまさにその魂が望むことを粛々とやってきたのだ。

私たち女性三人が組む新役員体制は、「女三人寄ればかしましい」そのもの。アオバにとって、今最も重要な体制だと考える。

AOVA SODを始めとするアオバ製品は、棚に陳列されているだけでは売れていく製品ではない。目の前の方と向き合い、話に耳を傾け、お伝えし、お話し頂きご納得頂いて初めて販売に至る商品ばかりだ。そのため「かしましい役員体制」は、アオバ製品が真に広がっていく過程において、必要な体制なのだ。

同時にこれまで以上に、お客様の声をお聴きし、吸い上げていく。その想いを形にするため、社内体制も整えていく。お客様との触れ合いから、豊かな会話が生まれ、様々な貴重な意見も紡がれるだろう。かしましい新体制アオバを創るということこそ、常雄社長の遺志を継ぐことであり、私たちは、アオバと、そしてその魂と共に、成長し続けていくことだと思っている。



平成 27 (2015) 年、日比谷公園にて  
(AOVA magazine 創刊号掲載)

昭和 63 年 2 月、白井常雄は劇的な出会いをする。体内で生成される抗酸化酵素 SOD と同じような働きをする生薬、『SOD 様食品』を開発した丹羽耕三博士との出会いだった。当然ながら、この出会いがなければ、弊社エーオーエーアオバも AOVA SOD もこの世に存在していない。

以来、白井と丹羽博士のいのちのタッグは 34 年間続いた。何が、二人を引き合わせたのか…。その答えは、AOVA SOD を食する一人ひとりの細胞の中にあるのかもしれない。そして、それぞれのいのち、こころ、カラダのあり様となって引き継がれていく。

令和 4 (2022) 年に丹羽博士が、そして今年、それを追うように、白井が 3 月 9 日に旅立たれた。今頃、どの星で、その笑みで、新たな仕掛けを興じていることか。今しばらく、地球を、私たちを見守ってほしい。

**白井常雄** ◆ 1939 年、愛知県豊橋市生まれ。青山学院大学在学中に海のすばらしさに魅了され、学生時代にダイビング事業を起業し日本ダイビング界の草分け的存在となる。しかし、その後のオイルショックの影響であえなく倒産。次に注目したのがヘルス・ケア・マーケットで、そのすばらしさを伝えようと新たに起業。順調に業績を伸ばしていたが、関係会社のトラブルに巻き込まれ 2 度目の倒産となり、10 億円もの負債を背負った。30 代と 40 代での 2 度の倒産体験を通し、「何のために生きるのか」が問われていると観じていた頃、丹羽耕三博士との出会いがもたらされた。それを機に、1988 年、株式会社エーオーエーアオバを設立。丹羽博士の指導のもと、人の想いや志しが人の自然治癒力や免疫機能に大きく関与することを実感し、自然回帰運動を立ち上げた。その後、(株)船井総合研究所の創業者、故船井幸雄氏、形態波動工ネルギー研究所所長の足立育朗氏との出会いを通し、生涯をかけて人間本来の生き方の追窮に終始する。日頃より「生涯現役、臨終定年」を提唱し、令和 6 年 (2024) 年 3 月 9 日、長崎県での講演会最中に倒れ、帰らぬ人となる。まさに、有言実行の人生であった。享年 85 歳。戒名 高慈院和光常善居士。



あとは、まかせたよ！

平成 27 (2015) 年、日比谷公園にて  
(AOVA magazine 創刊号掲載)



新役員体制  
左から：前田恵美子・白井圭子・西澤頼母

Honoring 2 Remarkable Legacies...